

目 次

○ 概 況		1
【 各 論 】		
1. 個 人 消 費		2～3
2. 観 光		4～5
3. 住 宅 建 設		6
4. 雇 用 情 勢		7
5. 公 共 事 業		8
6. 生 乳 生 産		9
7. 漁 業		10
8. 企 業 倒 産		11
9. 金 融		12

計数の表示方法等

- ・ 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- ・ 符号の用法は次のとおりである。
 - 「0」～単位未満
 - 「-」～該当数値なし、未公表など
- ・ 計数は、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合がある。

(注)

- ・ 令和8年8月判断は、前回8年5月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断しています。

道北経済レポート(令和8年8月) 概況

【総括判断】

項 目	前 回 (8年5月判断)	今 回 (8年8月判断)	前回判断 との比較	備 考
総括判断	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	 (不変)	判断の据え置きは、 令和8年2月判断以 降3期連続

先行き	先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を引き続き注視する必要がある。			
-----	--	--	--	--

【各項目の判断】

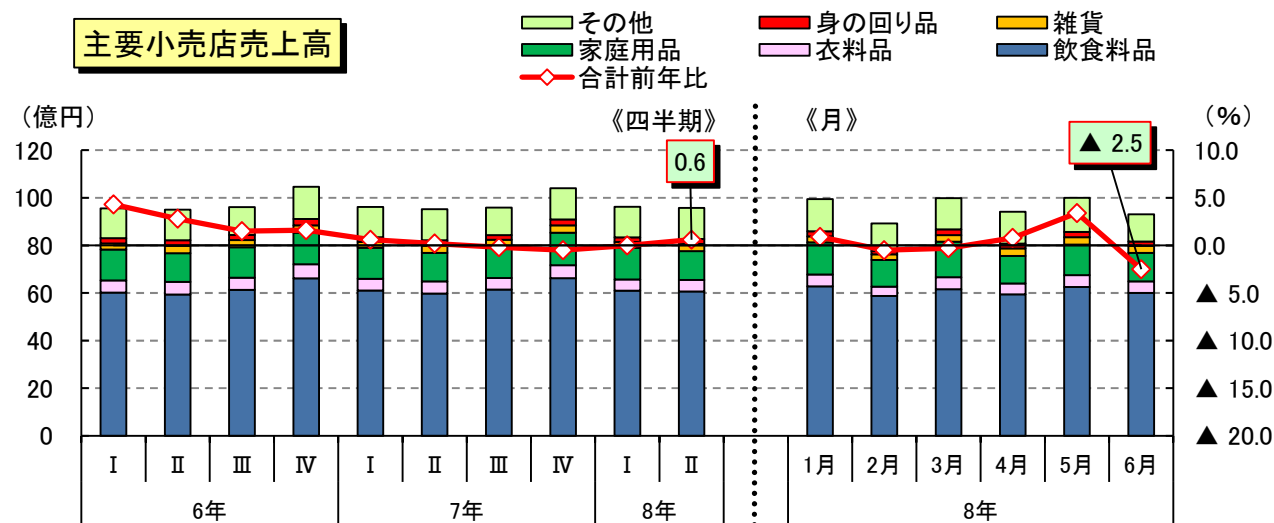
項 目	前 回 (8年5月判断)	今 回 (8年8月判断)	前回判断 との比較
個 人 消 費	持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している	
観 光	回復のテンポが緩やかになっている	回復のテンポが緩やかになっている	
住 宅 建 設	弱い動きとなっている	一進一退の状況にある	
雇 用 情 勢	持ち直しつつある	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	
公 共 事 業	前年を上回る	前年を下回る	

【参考】

項 目	生 乳 生 産	漁 業	企 業 倒 産	金 融
今 回 (8年8月判断)	前年を下回る	水揚げ金額は前年を下回る	件数は前年を上回る	貸出金残高は前年を下回る

1. 個人消費 … 緩やかに持ち直している

- 主要小売店売上高は、衣料品等が不調であるものの、物価高に伴う価格上昇の中、飲食料品の買上点数は安定して推移しており売上は好調であることから、全体では前年を上回っている。
- 乗用車販売(新車登録等台数)は、軽自動車は前年を下回っているものの、「環境性能割」の廃止に伴う登録控えの反動に加え、一部メーカーの受注制限も緩和されたことにより、普通車・小型車は前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。



(注) 四半期分は3か月の平均。
○ 主要小売店売上高

(単位: 百万円、%)

	合計	前年比	うち衣料品	前年比	うち身の回り品	前年比	うち雑貨	前年比	うち家電等家庭用品	前年比	うち飲食料品	前年比
5年	114,470	0.5	6,405	▲ 1.3	2,848	3.8	3,640	▲ 5.9	14,550	▲ 2.9	72,210	1.4
6年	117,354	2.5	6,416	0.2	2,811	▲ 1.3	3,557	▲ 2.3	15,305	5.2	74,121	2.6
7年	117,374	0.0	6,083	▲ 5.2	2,625	▲ 6.6	3,467	▲ 2.5	15,534	1.5	74,552	0.6
7.4~6	28,566	0.2	1,549	▲ 3.1	669	▲ 2.8	899	▲ 3.6	3,600	▲ 0.2	17,926	0.6
7.7~9	28,761	▲ 0.2	1,437	▲ 5.8	597	▲ 8.9	899	▲ 2.6	3,929	2.6	18,437	0.2
7.10~12	31,207	▲ 0.5	1,637	▲ 7.5	757	▲ 5.7	924	▲ 0.9	4,096	2.9	19,867	0.1
8.1~3	28,853	0.0	1,401	▲ 4.0	591	▲ 2.0	762	2.2	3,965	1.4	18,311	▲ 0.1
8.4~6	28,725	0.6	1,445	▲ 6.7	615	▲ 8.0	916	1.9	3,634	1.0	18,201	1.5
R8.1	9,942	0.9	497	▲ 4.0	209	▲ 3.1	251	0.3	1,352	2.7	6,280	1.3
R8.2	8,923	▲ 0.5	391	▲ 7.1	140	▲ 4.1	228	▲ 2.3	1,130	0.2	5,874	▲ 0.4
R8.3	9,988	▲ 0.3	513	▲ 1.6	242	0.3	283	8.0	1,483	1.2	6,156	▲ 1.2
R8.4	9,412	0.8	459	▲ 7.6	207	▲ 9.7	318	2.2	1,151	0.7	5,944	1.5
R8.5	10,003	3.4	503	▲ 1.1	218	▲ 3.3	311	4.8	1,284	7.2	6,250	3.7
R8.6	9,310	▲ 2.5	483	▲ 11.2	191	▲ 11.2	286	▲ 1.4	1,199	▲ 4.7	6,007	▲ 0.6

(注1) 主要小売店売上高は、令和7年4月に集計対象小売店が変更となったため過去に遡って数字全体を再計算している。

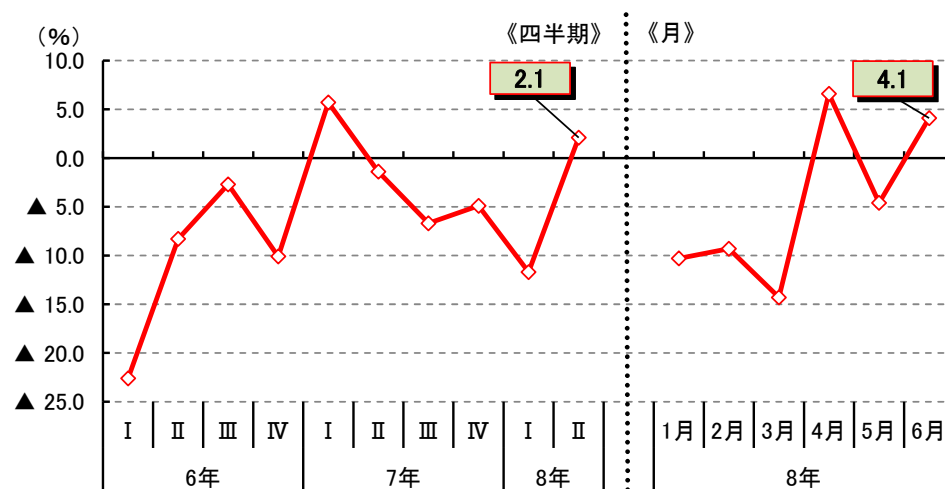
(注2) 前年比は、変更後の対象店舗で前年分を再集計の上、計算している。

(資料) 旭川財務事務所

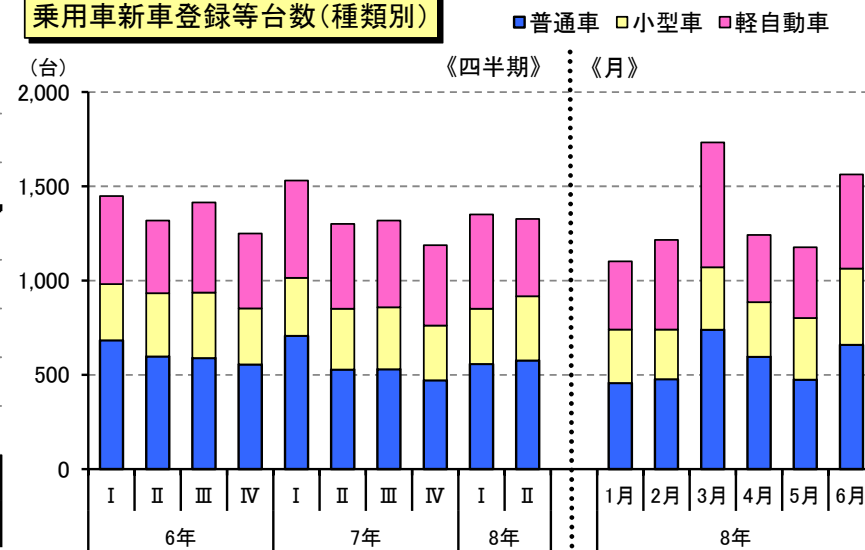
主要小売店 生の声

- 宝飾品やコスメ、時計などの高額商品が前年を上回る水準で推移しており、消費マインドの回復がうかがわれる。(複合商業施設)
- 飲食料品は昨年より値上げが続いており、2月から3月にかけては買上点数が前年と比較してかなり落ち込んでいたが、ここ2~3か月で持ち直してきている。(スーパー)
- 衣料品は、春物について気候が不安定だった影響から伸び悩んだ。また、夏物についても涼しい日が続いていることから買上点数の減少が続いている。(複合商業施設)
- 靴やキャリーケースは、旅行需要の低下により不調となっている。(複合商業施設)
- エアコンは、来年度からの新省エネ基準適用による値上げ前の駆け込み需要から、特に5月の売上が前年を大きく上回り、好調となった。(家電量販店)
- 飲食店は、以前は高級なイメージがあったものの、飲食料品の値上げが続いたことで、相対的に高額と感じられにくくなっている印象があり、よく利用されている。(複合商業施設)

乗用車新車登録等台数(前年比)



乗用車新車登録等台数(種類別)



(注) 四半期分は3か月の平均。

○乗用車新車登録等台数

(単位: 台、%)

	合計		うち普通車		うち小型車		うち軽自動車	
		前年比		前年比		前年比		前年比
5 年	18,460	▲ 17.3	7,611	▲ 31.0	5,132	▲ 9.0	5,717	▲ 9.5
6 年	16,290	▲ 11.8	7,278	▲ 4.4	3,832	▲ 25.3	5,180	▲ 9.4
7 年	16,010	▲ 1.7	6,712	▲ 7.8	3,739	▲ 2.4	5,559	▲ 7.3
7. 4~6	3,901	▲ 1.4	1,586	▲ 11.6	964	▲ 4.0	1,351	▲ 16.8
7. 7~9	3,956	▲ 6.7	1,590	▲ 10.1	984	▲ 5.5	1,382	▲ 3.6
7. 10~12	3,563	▲ 4.9	1,414	▲ 15.0	870	▲ 2.6	1,279	▲ 7.4
8. 1~3	4,051	▲ 11.7	1,673	▲ 21.2	878	▲ 4.7	1,500	▲ 3.0
8. 4~6	3,982	2.1	1,731	9.1	1,020	5.8	1,231	▲ 8.9
R8.1	1,102	▲ 10.3	457	▲ 18.0	283	15.5	362	▲ 15.2
R8.2	1,216	▲ 9.3	477	▲ 15.9	263	▲ 12.6	476	0.8
R8.3	1,733	▲ 14.3	739	▲ 26.0	332	▲ 11.5	662	2.2
R8.4	1,242	6.6	596	15.7	290	13.7	356	▲ 9.9
R8.5	1,177	▲ 4.6	475	▲ 3.3	326	▲ 4.4	376	▲ 6.5
R8.6	1,563	4.1	660	13.8	404	9.8	499	▲ 9.9

(資料) (社)日本自動車販売協会連合会旭川支部、(社)旭川地区軽自動車協会

乗用車 生の声

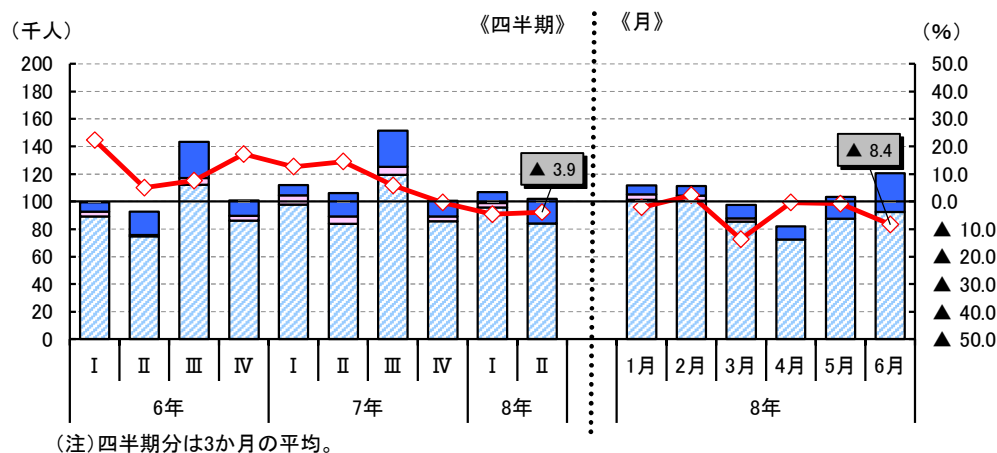
- 燃費性能に応じて自動車取得時に課税される「環境性能割」が令和8年3月末で廃止となったことから、それまでの買い控えの反動により、登録台数は増加した。(一般社団法人)
- 受注制限や生産品質対応における一時停止が解除され、受注台数が大きく伸びた。(乗用車販売店)
- 販売車種はハイブリッド車が主流となり、価格が高額になっていることから、購入に慎重な顧客が増加しているものの、買い控えとまでは至らず、マインド的にはさほど冷え込んでいるとは思われない。(乗用車販売店)
- 中東情勢による生産への影響は聞かれない。資材高騰や人件費の上昇などが、販売価格に上乗せされていくものと考えられる。(一般社団法人)

2. 観光 … 回復のテンポが緩やかになっている

○ 主要ホテル宿泊客数(旭川市内、層雲峡温泉)は、国内客が増加したことから前年を上回っているものの、空港乗降客数は、国際線の運休等から前年を下回っている。

空港別乗降客数

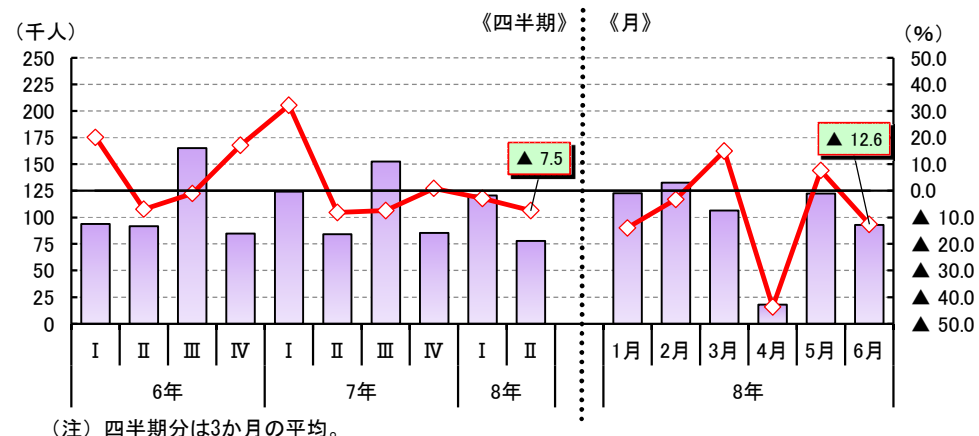
旭川国内線 旭川国際線 稚内 前年比



(注) 四半期分は3か月の平均。

旭山動物園入園者数

入園者 前年比



(注) 四半期分は3か月の平均。

(単位：人、%)

	空港乗降客数									
	合計		旭川空港				稚内空港			
	前年比		前年比		うち国内便	うち国際便	前年比		前年比	
5年	1,166,461	27.6	993,532	29.6	969,561	23,971	全増	172,929	17.1	
6年	1,308,781	12.2	1,125,378	13.3	1,087,156	38,222	59.5	183,403	6.1	
7年	1,410,424	7.8	1,223,151	8.7	1,160,100	63,051	65.0	187,273	2.1	
7. 4~6	318,122	14.5	267,388	17.8	250,881	16,507	6.1倍	50,734	▲ 0.2	
7. 7~9	454,882	5.8	375,408	6.9	358,369	17,039	16.5	79,474	0.9	
7. 10~12	301,441	▲ 0.4	267,048	▲ 0.8	257,620	9,428	▲ 10.4	34,393	2.7	
8. 1~3	320,490	▲ 4.6	297,181	▲ 5.1	287,335	9,846	▲ 51.0	23,309	2.8	
8. 4~6	305,865	▲ 3.9	252,545	▲ 5.6	252,545	0	全減	53,320	5.1	
R8.1	111,715	▲ 2.1	105,129	▲ 1.6	101,333	3,796	▲ 48.0	6,586	▲ 10.5	
R8.2	111,300	2.3	104,181	1.9	100,629	3,552	▲ 50.1	7,119	7.9	
R8.3	97,475	▲ 13.7	87,871	▲ 15.7	85,373	2,498	▲ 55.9	9,604	10.2	
R8.4	81,996	▲ 0.4	72,598	▲ 0.8	72,598	0	全減	9,398	3.5	
R8.5	103,313	▲ 0.8	87,577	▲ 1.7	87,577	0	全減	15,736	4.6	
R8.6	120,556	▲ 8.4	92,370	▲ 12.1	92,370	0	全減	28,186	5.9	

(注1) 空港乗降客数は、定期便+臨時便+チャーター便である(令和4年11月発行分以降、過去に遡って空港乗降客数に臨時便を追加)。

(資料) 旭川市、北海道エアポート(稚内空港事業所)

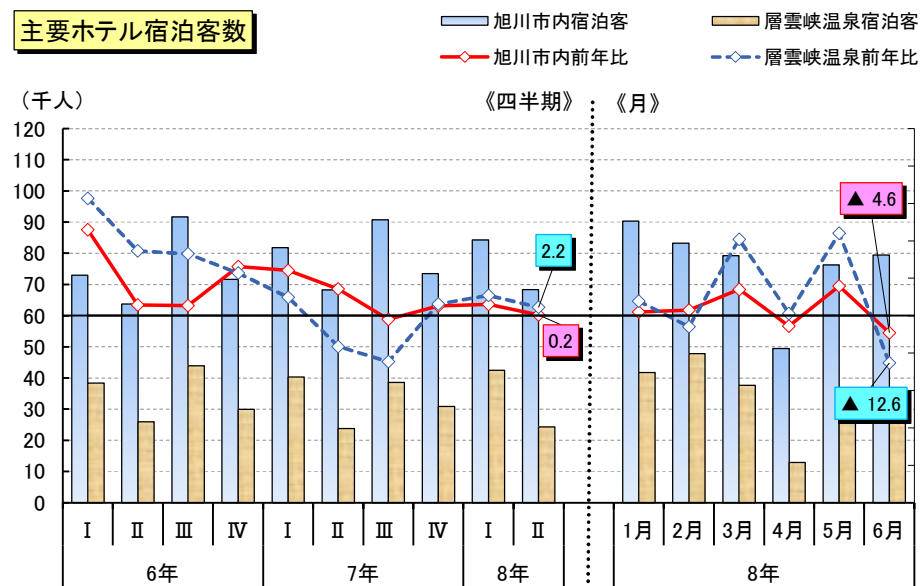
(単位：人、%、ポイント)

	旭山動物園 入園者数		旭川市内主要ホテル				層雲峡温泉			
	前年比		客室稼働率		宿泊客数		客室稼働率		宿泊客数	
	前年比		前年差		前年比		前年差		前年比	
5年	1,246,415	21.6	76.8	5.5	821,952	20.7	40.5	12.6	347,391	47.4
6年	1,305,484	4.7	78.8	2.0	900,284	9.5	49.2	8.7	414,217	19.2
7年	1,338,633	2.5	82.6	3.8	943,092	4.8	46.2	▲ 3.0	400,147	▲ 3.4
7. 4~6	252,409	▲ 8.2	74.2	4.9	204,811	7.1	34.5	▲ 4.3	71,285	▲ 8.2
7. 7~9	457,700	▲ 7.5	89.6	0.1	272,167	▲ 1.0	51.1	▲ 11.1	115,547	▲ 12.3
7. 10~12	256,132	0.9	81.5	3.8	220,582	2.6	42.4	1.7	92,514	3.1
8. 1~3	361,670	▲ 2.9	87.7	2.7	252,811	3.0	59.8	3.2	127,278	5.4
8. 4~6	233,523	▲ 7.5	77.5	3.3	205,138	0.2	33.4	▲ 1.1	72,881	2.2
R8.1	122,513	▲ 14.0	89.0	0.6	90,305	1.0	54.8	3.0	41,747	3.9
R8.2	132,689	▲ 3.3	91.8	0.8	83,282	1.5	75.1	▲ 2.9	47,853	▲ 3.0
R8.3	106,468	14.9	82.9	6.7	79,224	7.0	50.9	8.8	37,678	20.4
R8.4	18,039	▲ 43.7	64.4	3.7	49,417	▲ 2.8	17.2	▲ 0.5	12,891	0.6
R8.5	122,497	7.6	79.3	5.9	76,278	7.9	41.1	4.1	31,333	22.0
R8.6	92,987	▲ 12.6	87.6	▲ 0.7	79,443	▲ 4.6	40.7	▲ 7.1	28,657	▲ 12.6

(注1) 旭川市内主要ホテルは、令和6年12月に集計対象ホテルが変更となったため過去に遡って数字自体を再計算している。

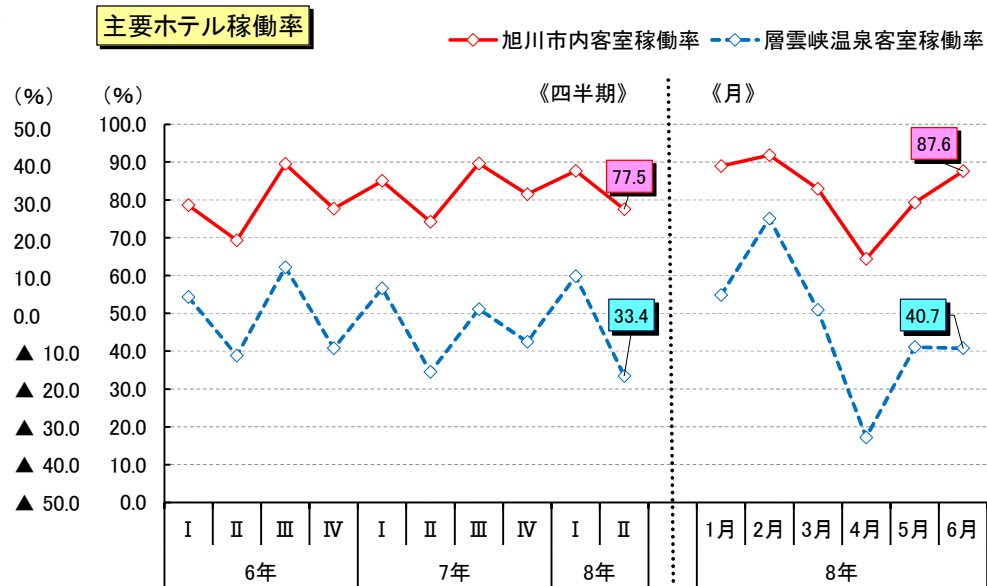
(資料) 旭山動物園、旭川財務事務所

主要ホテル宿泊客数



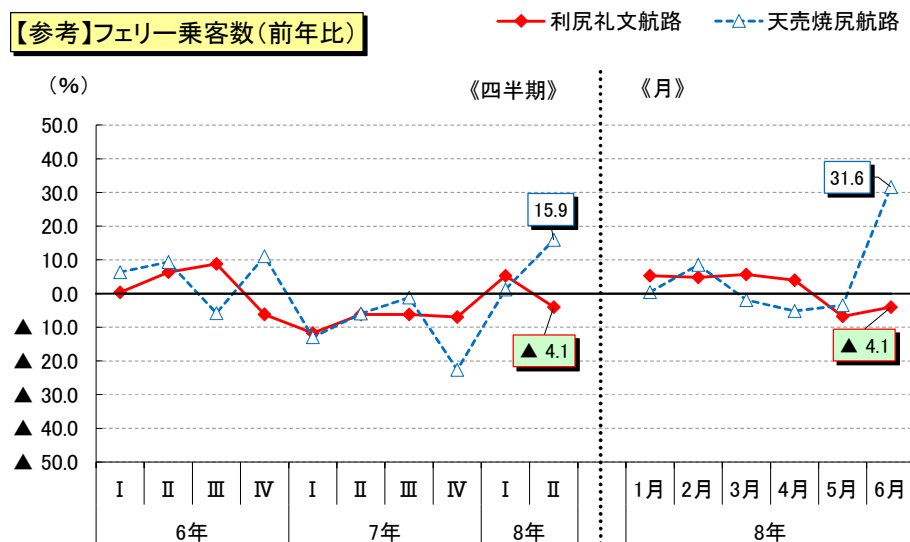
(注) 四半期分は3か月の平均。

主要ホテル稼働率



観光生の声

【参考】フェリー乗客数(前年比)



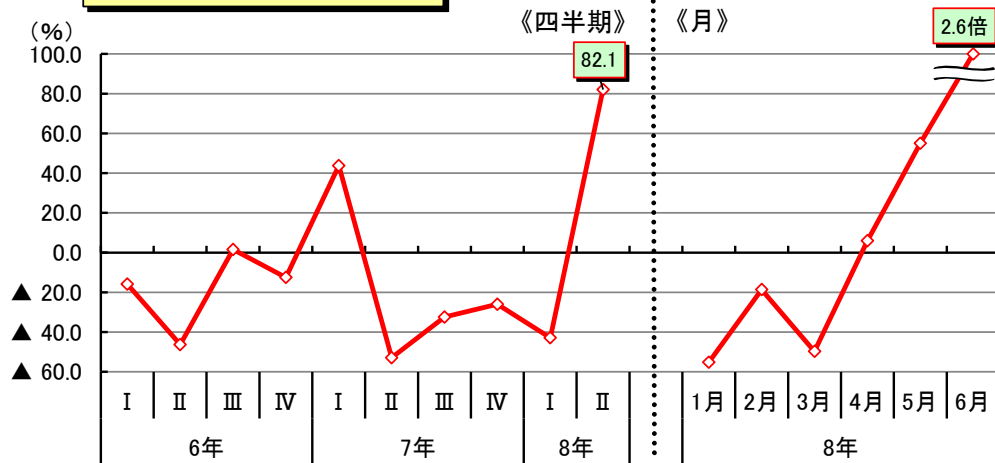
(資料) ハートランドフェリー(株)、羽幌沿海フェリー(株)

- 中東情勢の影響により航空運賃高騰等が生じておりインバウンドに影響があったものの、国内客は海外旅行から国内旅行へと切り替える動きがみられている。(宿泊業)
- 中国による渡航自粛の影響は限定的となっており、その減少分も他のアジア圏からのインバウンドによりカバーされている。(宿泊業)
- 前年は大型イベントがあったことから、今期はその反動減が含まれている。(一般社団法人)
- 旭川空港における国際線の運休について相応に乗降客がいたことから、宿泊客数に一定の影響が生じていると考えている。(一般社団法人)
- 中東情勢の影響により7月、8月の国内客及びインバウンドの動向は弱いものとなっているが、9月以降については中東情勢も落ち着くとの予測からか好調に推移している。(宿泊業)

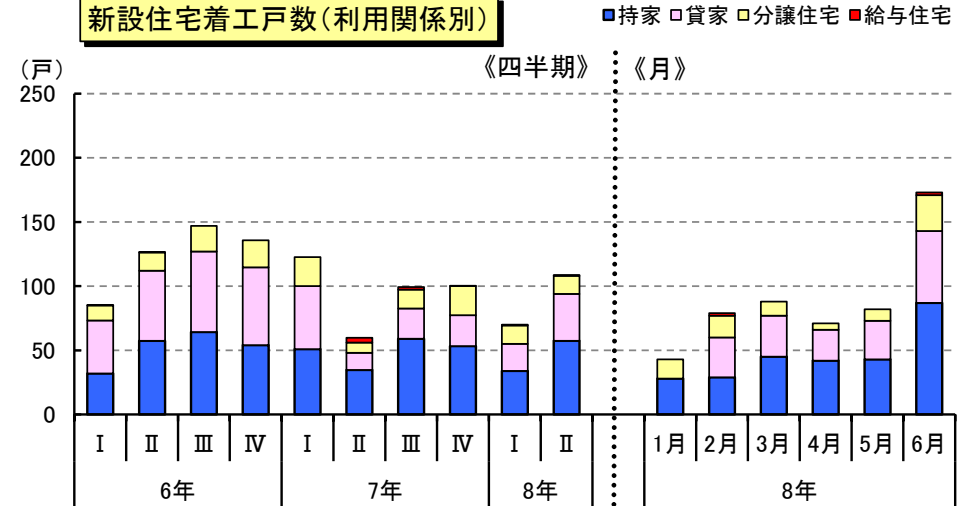
3. 住 宅 建 設 … 一進一退の状況にある

○ 管内6市(旭川市、留萌市、稚内市、士別市、名寄市、富良野市)の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を上回っている。

新設住宅着工戸数(前年比)



新設住宅着工戸数(利用関係別)



○新設住宅着工戸数合計

(単位：戸、%)

	旭川・留萌・稚内・士別・名寄・富良野の各市計										
		うち旭川市				利 用 関 係 別					
		前年比	前年比	前年比	前年比	持家	貸家	分譲住宅	分譲住宅	分譲住宅	
5 年	1,910	▲ 5.6	1,376	▲ 12.3	683	▲ 16.5	726	▲ 2.3	295	▲ 11.7	
6 年	1,484	▲ 22.3	1,067	▲ 22.5	623	▲ 8.8	658	▲ 9.4	201	▲ 31.9	
7 年	1,146	▲ 22.8	946	▲ 11.3	594	▲ 4.7	330	▲ 49.8	204	▲ 1.5	
7. 4～6	179	▲ 52.9	116	▲ 51.5	104	▲ 39.5	40	▲ 75.6	24	▲ 44.2	
7. 7～9	298	▲ 32.4	234	▲ 29.3	177	▲ 8.3	71	▲ 62.2	44	▲ 26.7	
7. 10～12	301	▲ 26.0	277	▲ 17.6	160	▲ 1.2	72	▲ 60.4	68	▲ 7.9	
8. 1～3	210	▲ 42.9	187	▲ 41.4	102	▲ 33.3	63	▲ 57.1	43	▲ 36.8	
8. 4～6	326	82.1	251	2.2倍	172	65.4	110	2.8倍	42	75.0	
R8.1	43	▲ 55.2	41	▲ 47.4	28	▲ 12.5	0	全減	15	7.1	
R8.2	79	▲ 18.6	76	▲ 1.3	29	▲ 40.8	31	19.2	17	▲ 22.7	
R8.3	88	▲ 49.7	70	▲ 57.3	45	▲ 37.5	32	▲ 54.9	11	▲ 65.6	
R8.4	71	6.0	60	53.8	42	40.0	24	20.0	5	▲ 28.6	
R8.5	82	82.2	68	2.8倍	43	72.0	30	2.1倍	9	50.0	
R8.6	173	2.6倍	123	2.3倍	87	77.6	56	9.3倍	28	2.5倍	

(資料) 国土交通省

(注) 四半期分は3か月の平均。

住宅建設 生の声

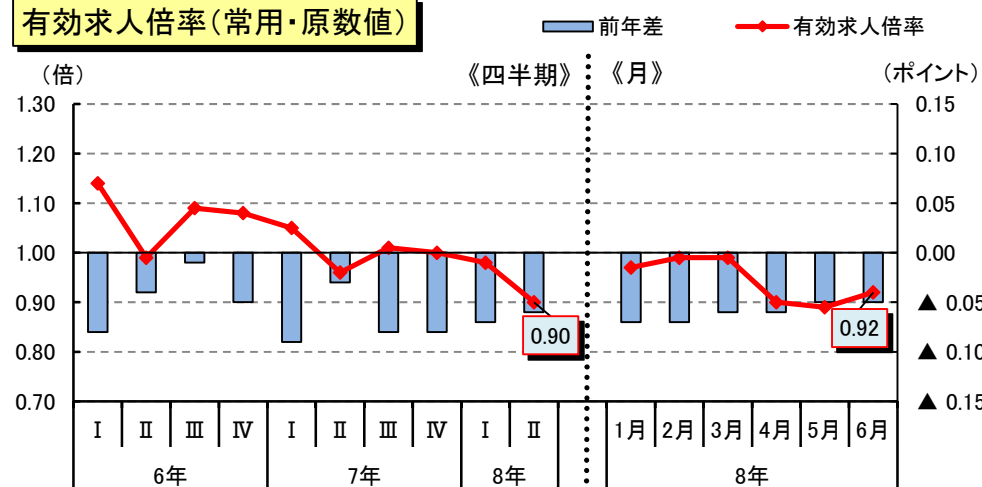
- 中東情勢の影響でプラスチック不足から壁紙クロスなどの建築資材が高騰しているものの、納期の延長は解消されつつある。(一般社団法人)
- 中東情勢の影響として、部材の入荷に若干の遅れはあるものの、太宗の業者は1年分程度の資材は確保しており、大きな混乱はない。(金融機関)
- 新築をあきらめた層を含めて、リフォーム需要が旺盛となっている。(一般社団法人)
- 資材高騰、金利上昇の中、賃貸住宅のオーナーになる資力のある人が減っている。(建設業)
- 資材の値上がり分の販売価格への転嫁が需要を更に低下させる懸念がある。(一般社団法人)

4. 雇用情勢 … 持ち直しに向けた動きに一服感がみられる

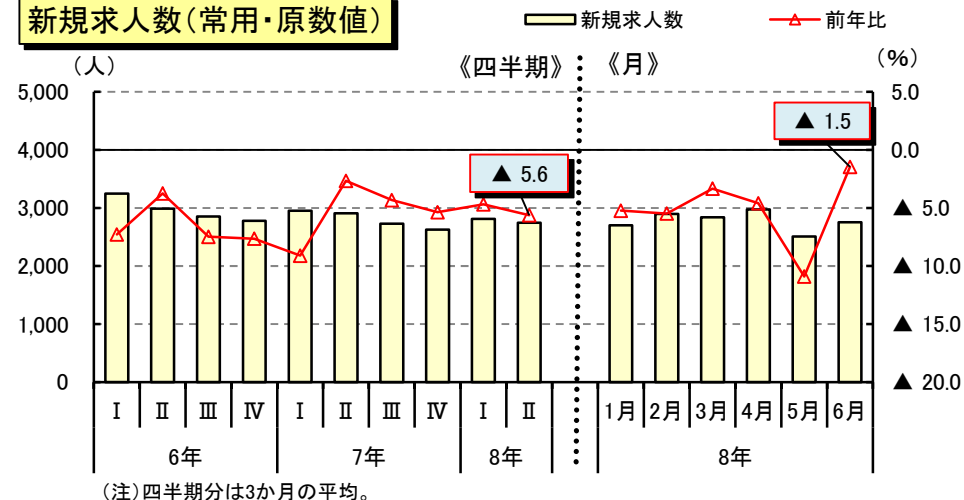
○ 人手不足が続く中、有効求人倍率(常用)は、有効求人数(常用)が減少していることから、このところ低下している。

○ 新規求人数(常用)は、「建設業」等で増加しているものの、「製造業」、「医療・福祉」等で減少しており、前年を下回っている。

有効求人倍率(常用・原数値)



新規求人数(常用・原数値)



(単位：倍、ポイント、人、%)

	有効求職者数 (常用・原数値)		有効求人数 (常用・原数値)		有効求人倍率 (常用・原数値)		新規求職者数 (常用・原数値)		新規求人数 (常用・原数値)	
	前年比		前年比		前年差		前年比		前年比	
5 年	▲ 1.2		▲ 8.5		▲ 0.09		▲ 0.4		▲ 9.6	
6 年	▲ 1.8		▲ 6.1		▲ 0.05		▲ 0.7		▲ 6.6	
7 年	0.6		▲ 5.7		▲ 0.07		▲ 1.4		▲ 5.5	
7. 4~6	▲ 0.4		▲ 3.8		▲ 0.03		▲ 1.6		▲ 2.7	
7. 7~9	2.1		▲ 5.0		▲ 0.08		2.3		▲ 4.3	
7. 10~12	1.5		▲ 5.5		▲ 0.08		▲ 1.9		▲ 5.4	
8. 1~3	0.1		▲ 6.3		▲ 0.07		▲ 0.7		▲ 4.7	
8. 4~6	▲ 0.2		▲ 5.9		▲ 0.06		▲ 2.6		▲ 5.6	
R8.1	0.4		▲ 6.3		▲ 0.07		▲ 1.4		▲ 5.2	
R8.2	▲ 1.0		▲ 7.6		▲ 0.07		▲ 5.1		▲ 5.5	
R8.3	0.9		▲ 4.9		▲ 0.06		4.2		▲ 3.3	
R8.4	▲ 0.5		▲ 6.5		▲ 0.06		▲ 2.3		▲ 4.6	
R8.5	▲ 1.2		▲ 6.4		▲ 0.05		▲ 7.2		▲ 10.9	
R8.6	1.2		▲ 4.8		▲ 0.05		1.7		▲ 1.5	

(資料) 旭川・稚内・留萌・名寄公共職業安定所

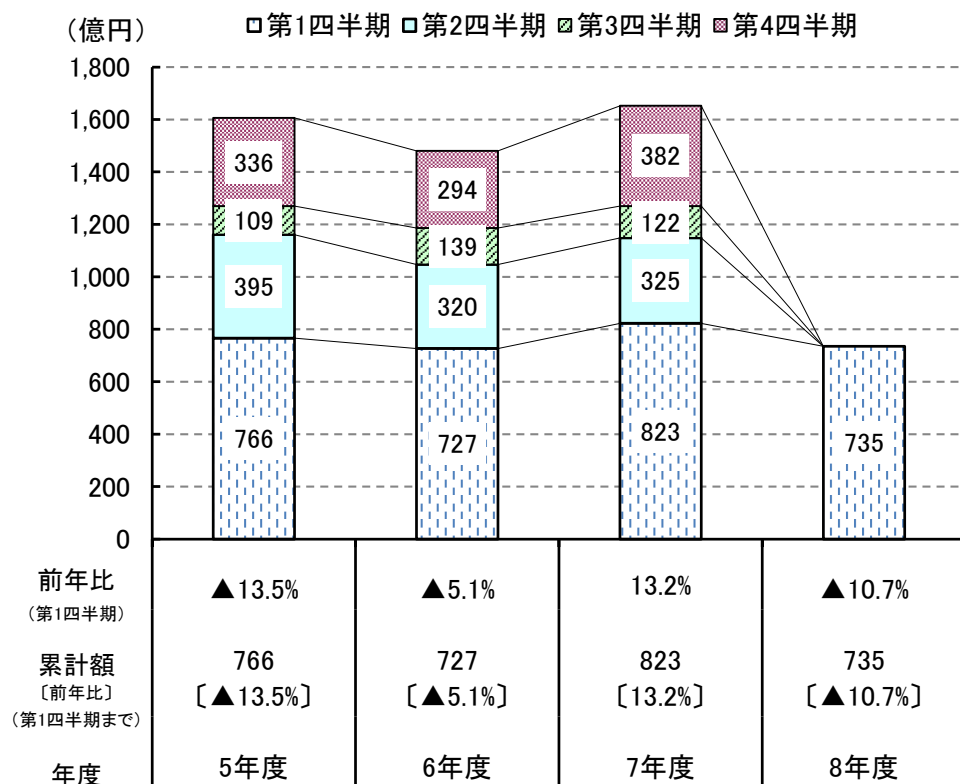
雇用情勢 生の声

- 業種、職種で濃淡はあるが、一部ではもはや人手不足とは言えない状況がみられる。(公的機関)
- 求職側は事務職や軽作業の職種で希望が多い一方、求人側は人材不足分野である介護、看護、医療といった業種で引き続き求人が多く、ミスマッチが埋まらない状況が続いている。(公的機関)
- 各種コストアップや人件費負担増から、人を雇わず対応している。(公的機関)
- 採用条件を緩める動きも見られ、時間も曜日も指定せず、平日だけでも可、といった募集が増えている。(民間職業紹介所)

5. 公 共 事 業 … 前年を下回る

○ 公共事業を前払金保証請負金額でみると、宗谷地域で前年を上回っているものの、上川及び留萌地域で前年を下回っており、全体では前年を下回っている。

公共工事前払金保証請負金額(累計)



(単位：百万円、%)

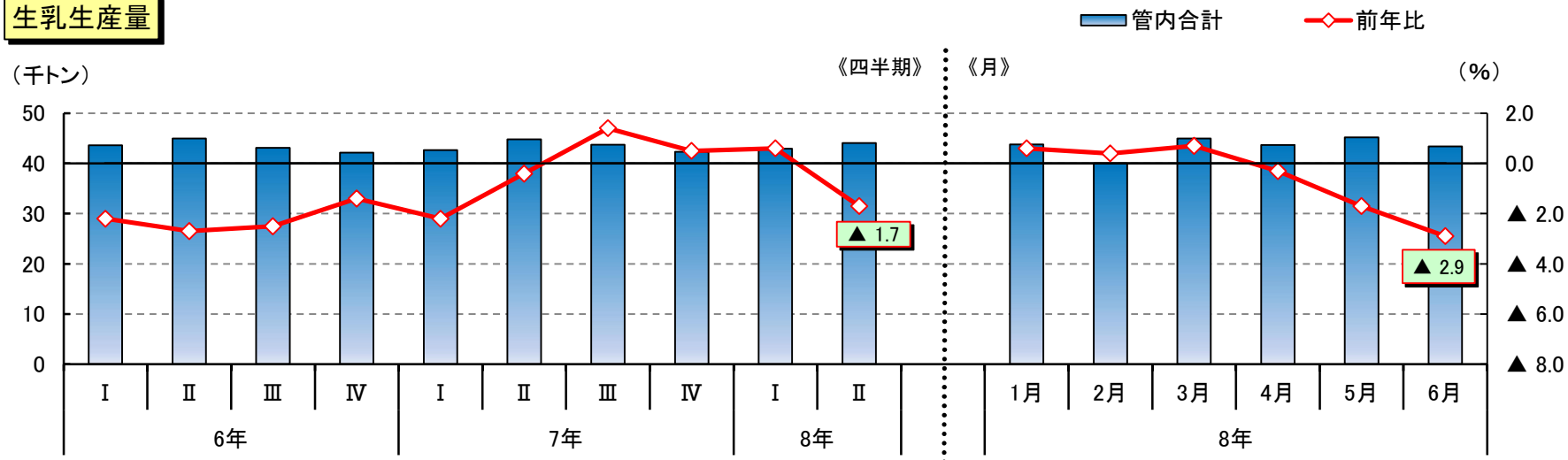
	公共工事前払金保証請負金額							
	合 計	前年比	上川	前年比	留萌	前年比	宗谷	前年比
5 年度	160,573	2.6	98,634	4.1	25,302	▲ 20.4	36,636	22.5
6 年度	148,025	▲ 7.8	89,670	▲ 9.1	25,046	▲ 1.0	33,308	▲ 9.1
7 年度	165,232	11.6	104,708	16.8	29,650	18.4	30,872	▲ 7.3
7. 4～6	82,283	13.2	48,669	14.5	17,796	20.0	15,816	2.9
7. 7～9	32,543	1.7	19,083	▲ 2.5	5,870	15.2	7,591	3.5
7. 10～12	12,163	▲ 12.5	7,824	30.0	1,916	▲ 19.9	2,424	▲ 55.8
8. 1～3	38,243	30.0	29,132	35.0	4,068	49.3	5,041	▲ 1.4
8. 4～6	73,484	▲ 10.7	41,361	▲ 15.0	13,414	▲ 24.6	18,708	18.3
R8.1	2,421	6.6	1,794	▲ 17.3	96	4.2倍	531	6.7倍
R8.2	4,664	19.0	3,819	37.1	838	3.6倍	6	▲ 99.3
R8.3	31,156	34.1	23,518	41.4	3,134	27.0	4,503	9.0
R8.4	20,904	▲ 30.3	13,760	▲ 25.0	3,152	▲ 47.8	3,991	▲ 29.1
R8.5	23,907	▲ 15.8	12,382	▲ 28.5	3,766	▲ 47.7	7,759	100.0
R8.6	28,671	20.0	15,218	16.8	6,496	42.4	6,957	10.4

(資料) 北海道建設業信用保証㈱

6. 生乳生産 … 前年を下回る

○ 生乳生産量は、上川、留萌及び宗谷地域いずれも前年を下回っている。

生乳生産量



(注) 四半期分は3か月の平均。

○生乳生産量（生乳受託販売実績）

(単位：トン、%)

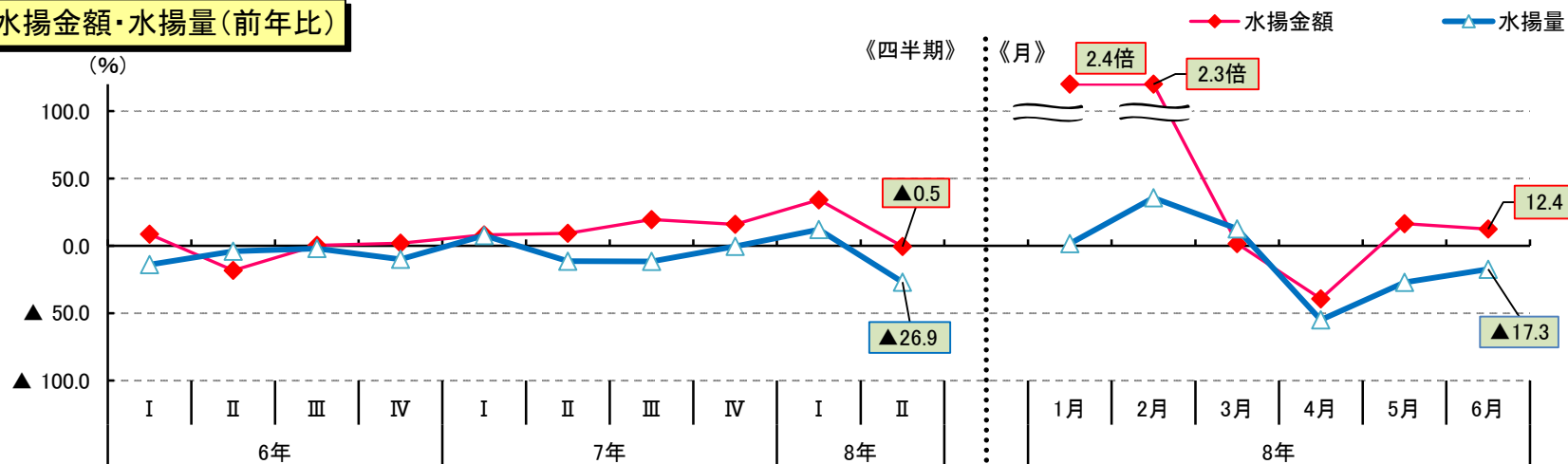
	合計		上川		留萌		宗谷	
		前年比		前年比		前年比		前年比
5 年	533,350	▲ 3.9	172,711	▲ 0.8	61,612	▲ 5.1	299,028	▲ 5.4
6 年	521,499	▲ 2.2	171,245	▲ 0.8	57,797	▲ 6.2	292,457	▲ 2.2
7 年	520,560	▲ 0.2	173,936	1.6	55,792	▲ 3.5	290,832	▲ 0.6
7. 4~6	134,427	▲ 0.4	44,972	2.0	14,481	▲ 2.8	74,975	▲ 1.3
7. 7~9	131,143	1.4	43,772	2.6	13,976	0.1	73,394	1.0
7. 10~12	126,994	0.5	42,524	1.4	13,522	▲ 2.3	70,948	0.6
8. 1~3	128,744	0.6	43,108	1.0	13,653	▲ 1.2	71,982	0.7
8. 4~6	132,207	▲ 1.7	44,361	▲ 1.4	14,124	▲ 2.5	73,722	▲ 1.7
R8.1	43,797	0.6	14,629	1.3	4,618	▲ 1.9	24,550	0.7
R8.2	40,012	0.4	13,377	0.5	4,250	▲ 0.9	22,385	0.6
R8.3	44,934	0.7	15,102	1.3	4,786	▲ 0.6	25,047	0.6
R8.4	43,669	▲ 0.3	14,702	0.2	4,662	▲ 1.9	24,305	▲ 0.3
R8.5	45,176	▲ 1.7	15,141	▲ 1.6	4,818	▲ 3.1	25,218	▲ 1.4
R8.6	43,361	▲ 2.9	14,519	▲ 2.6	4,643	▲ 2.3	24,199	▲ 3.2

(資料) ホクレン旭川・留萌・稚内支所、J Aきたそらち

7. 漁 業 … 水揚金額は前年を下回る

- 水揚金額は、ホタテ、タラ等が増加したものの、毛ガニ、スケトウダラ等が減少したことから、前年を下回っている。
- 水揚量は前年を下回っている。

水揚金額・水揚量（前年比）



○水揚金額

（単位：百万円、％）

	合計		うち毛ガニ		うちホタテ		うちタラ		うちスケトウダラ		うちニシン
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
5 年	41,607 ▲ 26.7		2,976 ▲ 18.1		23,519 ▲ 28.7		780 37.9		423 ▲ 27.9		342 54.9
6 年	39,512 ▲ 5.0		3,538 18.9		23,565 0.2		655 ▲ 16.0		291 ▲ 31.2		332 ▲ 3.0
7 年	45,304 ▲ 14.7		3,655 3.3		29,652 25.8		1,105 68.6		604 2.1倍		304 ▲ 8.3
7. 4～6	12,757 9.3		1,821 27.3		7,820 12.9		396 2.2倍		437 2.5倍		260 ▲ 0.1
7. 7～9	18,332 19.5		0 3.9倍		14,043 35.5		26 ▲ 36.0		17 45.3		1 ▲ 46.0
7. 10～12	10,303 16.0		0 15.6		7,490 25.1		237 2.6倍		51 28.9		5 ▲ 3.3
8. 1～3	5,244 34.1		1,637 ▲ 10.7		406 35.6		1,365 3.1倍		48 ▲ 51.8		24 ▲ 38.3
8. 4～6	12,687 ▲ 0.5		769 ▲ 57.8		8,532 9.1		1,103 2.8倍		214 ▲ 51.1		137 ▲ 47.4
R8.1	891 2.4倍		-		7 全増		515 3.5倍		44 ▲ 21.8		0 ▲ 62.3
R8.2	1,363 2.3倍		288 2.2倍		101 76.3		264 2.0倍		0 ▲ 94.1		0 ▲ 74.7
R8.3	2,990 1.6		1,349 ▲ 20.8		298 23.2		587 3.5倍		3 ▲ 90.0		23 ▲ 37.5
R8.4	2,120 ▲ 39.3		675 ▲ 60.4		184 ▲ 53.9		279 2.0倍		41 ▲ 72.6		112 ▲ 47.2
R8.5	4,316 16.5		95 ▲ 18.8		3,150 17.0		469 3.0倍		114 ▲ 43.6		23 ▲ 48.0
R8.6	6,251 12.4		- 全減		5,198 9.9		355 3.5倍		59 ▲ 31.7		1 ▲ 55.4

（資料）新星マリン・稚内機船・稚内・宗谷・猿払村・枝幸漁業協同組合

○水揚量

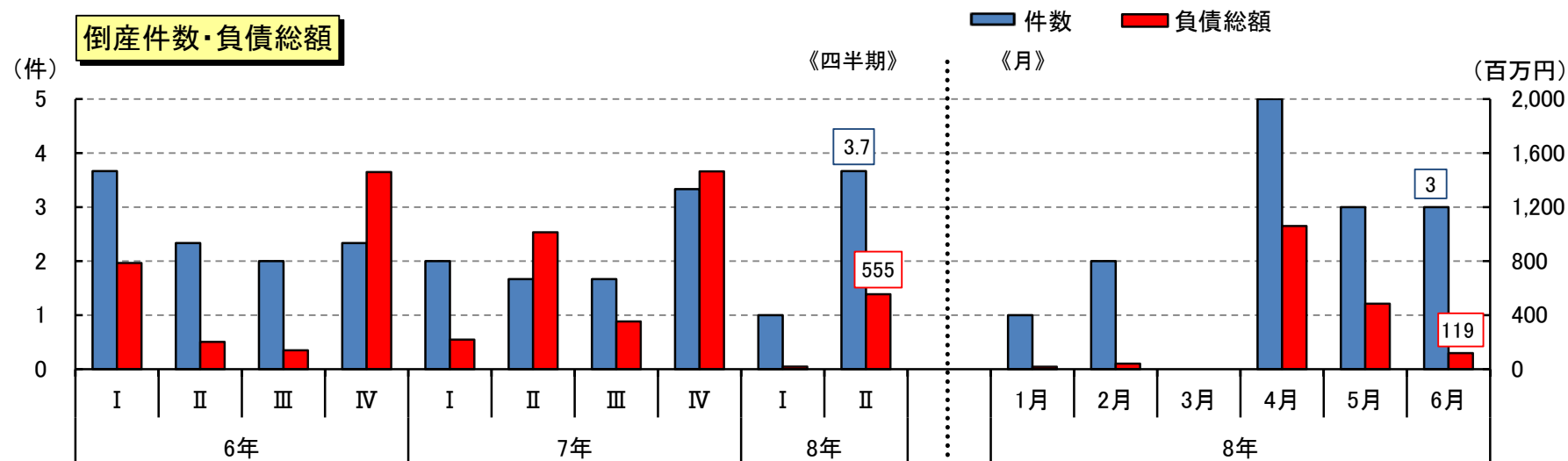
（単位：トン、％）

	合計		うち毛ガニ		うちホタテ		うちタラ		うちスケトウダラ		うちニシン
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
5 年	147,114 ▲ 12.9		705 ▲ 12.2		109,600 ▲ 11.7		3,713 14.4		8,298 ▲ 35.8		1,167 30.7
6 年	139,699 ▲ 5.0		507 ▲ 28.2		110,754 1.1		3,746 0.9		7,068 ▲ 14.8		1,194 2.4
7 年	128,126 ▲ 8.3		526 3.8		97,947 ▲ 11.6		5,979 59.6		12,216 72.8		786 ▲ 34.2
7. 4～6	43,766 ▲ 11.4		254 27.9		29,436 ▲ 22.0		2,183 62.9		9,034 92.1		668 ▲ 7.9
7. 7～9	48,418 ▲ 11.6		1 3.9倍		43,425 ▲ 8.8		104 ▲ 46.1		386 10.6		6 ▲ 18.5
7. 10～12	28,983 ▲ 0.4		0 ▲ 16.5		24,362 ▲ 0.6		661 2.4倍		1,056 47.3		19 ▲ 3.6
8. 1～3	7,803 12.1		295 8.5		1,165 60.8		4,199 38.6		915 ▲ 47.4		56 ▲ 39.1
8. 4～6	31,984 ▲ 26.9		136 ▲ 46.4		22,504 ▲ 23.5		3,243 48.5		3,545 ▲ 60.8		294 ▲ 56.1
R8.1	2,533 1.6		-		7 全増		1,418 6.3		867 ▲ 17.0		1 ▲ 70.7
R8.2	1,402 35.7		65 3.2倍		176 61.7		760 32.3		6 ▲ 96.1		1 ▲ 56.1
R8.3	3,867 12.6		230 ▲ 8.7		982 59.4		2,022 80.1		42 ▲ 92.2		55 ▲ 37.8
R8.4	3,128 ▲ 55.0		117 ▲ 50.3		775 ▲ 61.7		782 6.5		657 ▲ 77.1		223 ▲ 54.5
R8.5	11,837 ▲ 27.1		19 3.1		7,757 ▲ 23.3		1,488 52.8		1,887 ▲ 55.4		67 ▲ 54.7
R8.6	17,018 ▲ 17.3		- 全減		13,972 ▲ 19.2		972 2.0倍		1,001 ▲ 48.3		4 ▲ 88.4

（資料）新星マリン・稚内機船・稚内・宗谷・猿払村・枝幸漁業協同組合

8. 企業倒産・・・件数は前年を上回る

○ 企業倒産をみると、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている。



(注) 四半期分は3か月の平均。

(単位：件、百万円、%)

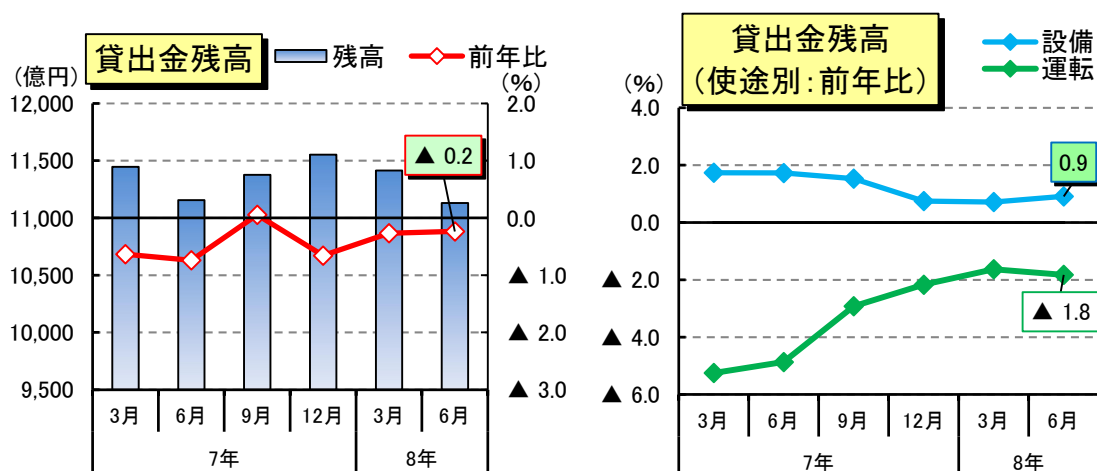
	件 数		業 種 別							負 債 総 額	
		前年比	うち農林	うち不動産	うち運輸	うちサービス	うち建設	うち製造	うち販売		前年比
5 年	23	15.0	3	-	-	6	6	1	7	2,044	▲ 1.3
6 年	31	34.8	1	1	2	9	5	3	9	7,766	3.8倍
7 年	26	▲ 16.1	-	-	2	9	2	3	10	9,154	17.9
7. 4～6	5	▲ 28.6	-	-	-	2	-	-	3	3,042	5.0倍
7. 7～9	5	▲ 16.7	-	-	1	1	1	1	1	1,060	2.5倍
7. 10～12	10	42.9	-	-	1	2	1	2	4	4,394	0.3
8. 1～3	3	▲ 50.0	-	-	-	1	-	1	1	59	▲ 91.0
8. 4～6	11	2.2倍	-	-	-	5	4	1	1	1,664	▲ 45.3
R8.1	1	▲ 50.0	-	-	-	-	-	-	1	18	▲ 96.3
R8.2	2	2.0倍	-	-	-	1	-	1	-	41	▲ 56.4
R8.3	0	全減	-	-	-	-	-	-	-	0	全減
R8.4	5	66.7	-	-	-	3	2	-	-	1,060	▲ 64.7
R8.5	3	3.0倍	-	-	-	1	2	-	-	485	18.0倍
R8.6	3	3.0倍	-	-	-	1	-	1	1	119	11.3倍

(注) 負債総額1千万円以上。

(資料) (株)東京商工リサーチ

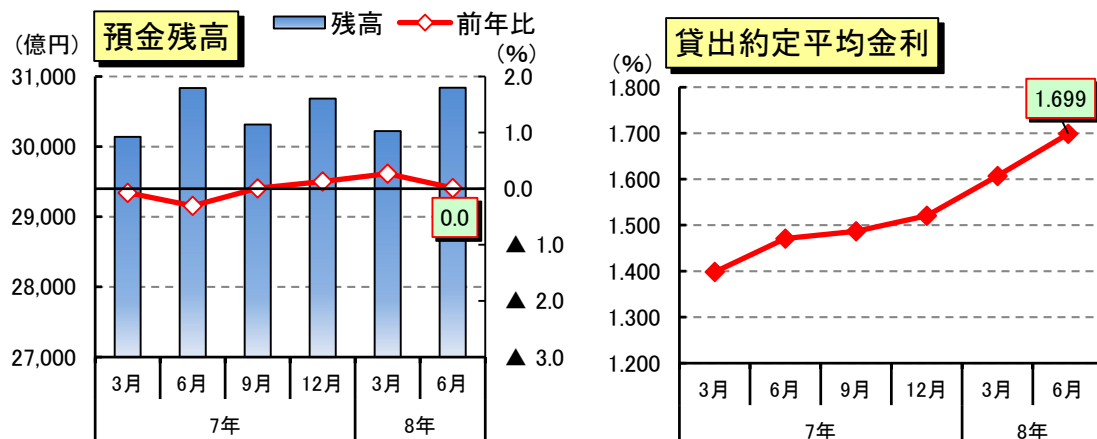
9. 金融 … 貸出金残高は前年を下回る

- 金融機関の貸出金残高は、設備資金は増加したものの、運転資金は減少したことから、前年を下回っている。
- 金融機関の預金残高は、定期性が減少したものの、流動性が増加したことから、前年を上回っている。
- 貸出約定平均金利は、前年を上回って推移している。



(単位: 億円、%)

	貸出金	設備	運転	地公体
	前年比	前年比	前年比	前年比
R7.3	11,446 ▲ 0.6	6,486 1.7	3,643 ▲ 5.2	1,316 1.4
R7.6	11,156 ▲ 0.7	6,485 1.7	3,508 ▲ 4.9	1,162 ▲ 1.2
R7.9	11,376 0.1	6,505 1.5	3,750 ▲ 2.9	1,121 1.9
R7.12	11,553 ▲ 0.7	6,528 0.7	3,895 ▲ 2.2	1,129 ▲ 3.3
R8.3	11,415 ▲ 0.3	6,532 0.7	3,584 ▲ 1.6	1,299 ▲ 1.3
R8.6	11,130 ▲ 0.2	6,544 0.9	3,444 ▲ 1.8	1,141 ▲ 1.8



(単位: 億円、%、ポイント)

	預金	うち流動性	うち定期性	貸出約定平均金利
	前年比	前年比	前年比	前四半期差
R7.3	30,140 ▲ 0.1	18,859 0.9	11,266 ▲ 1.7	1.398 0.080
R7.6	30,835 ▲ 0.3	18,893 ▲ 0.4	11,928 ▲ 0.1	1.471 0.072
R7.9	30,316 0.0	18,561 ▲ 0.3	11,737 0.4	1.487 0.016
R7.12	30,685 0.1	18,957 ▲ 0.4	11,710 0.9	1.520 0.034
R8.3	30,221 0.3	18,830 ▲ 0.2	11,373 0.9	1.607 0.087
R8.6	30,839 0.0	19,022 0.7	11,797 ▲ 1.1	1.699 0.092

(注1) 管内に所在する銀行、信用金庫、信用組合の本店分の合計。(ゆうちょ銀行を含まない。)

(注2) 預金の性質別には、外貨預金等を含まない。

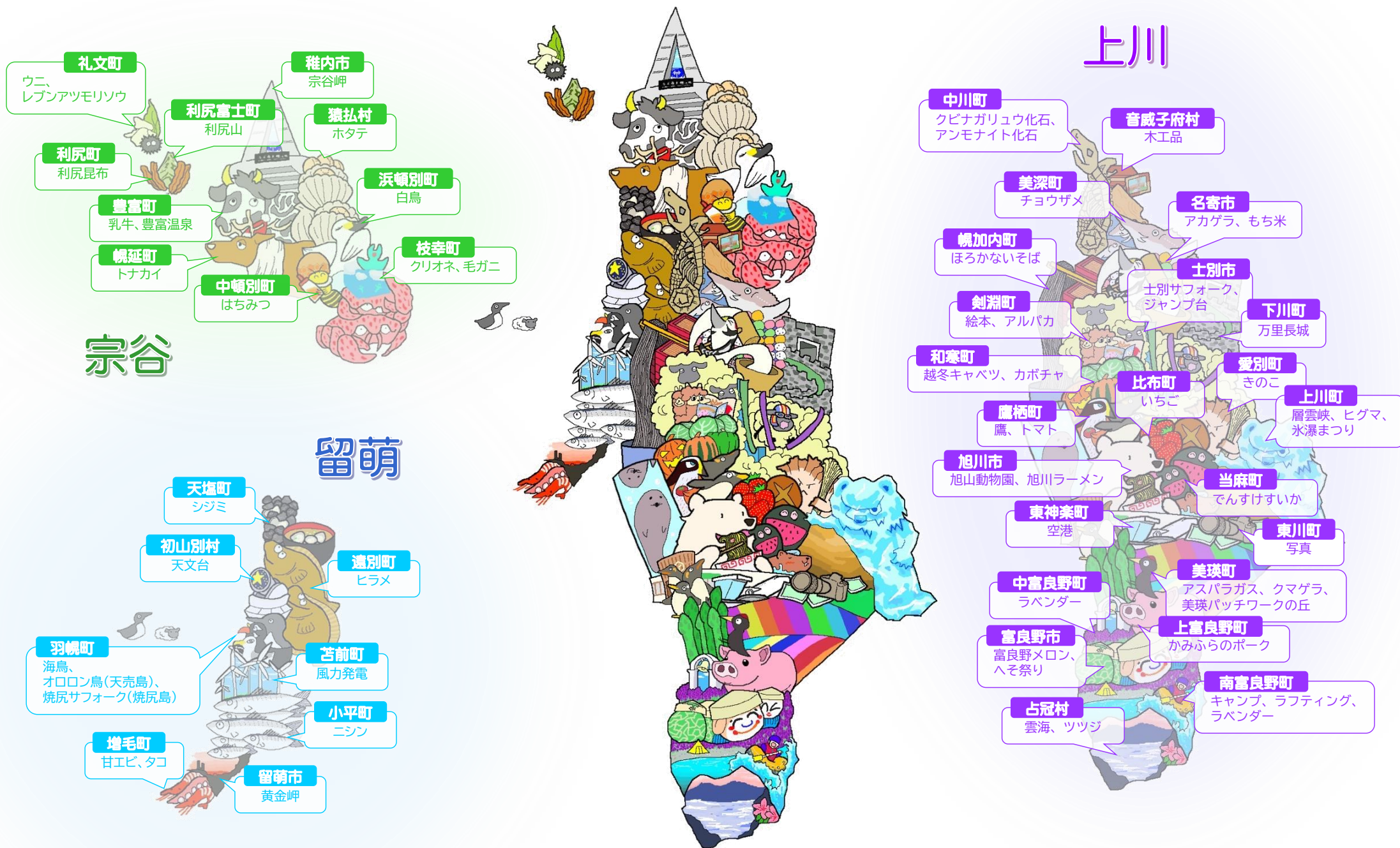
(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) 前年比、前四半期差は支店調整済数値で計算しているため、表から算出したものとは一致しない。

(注5) 令和2年5月以降の貸出約定平均金利について、実質無利子無担保融資の貸出金利を0%として報告する金融機関が一部含まれている。

(資料) 旭川財務事務所

道北41市町村 名物軍団



道北経済レポートは、北海道財務局ホームページ及び各種公式SNSでもご覧いただけます。

公式ホームページ

https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/asahikawa/keizai_geppo-1.html



公式X(旧Twitter)

https://x.com/mof_hokkaido



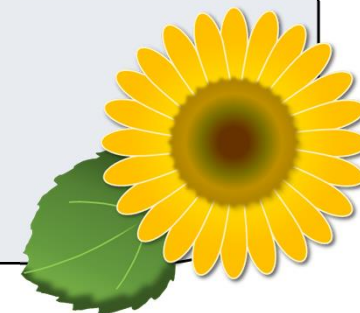
公式Facebook

<https://www.facebook.com/Hokkaido.Local.Finance.Bureau/>



公式Instagram

https://www.instagram.com/mof_lfb_hk



【本レポートに関する問い合わせ先】

財務省 旭川財務事務所 財務課

〒078-8503

旭川市宮前1条3丁目3番15号

旭川地方合同庁舎 東館4階

電話:0166-31-4151

